

コラボレーション企画
ハイドロジェノミクス：
高次水素機能による革新的材料・デバイス・反応プロセスの創成

日時：2021年3月19日(金) 9時00分～11時40分
オンラインにて開催

ハイドロジェノミクスとは、Hydrogen (水素) - omics (学問体系) であり、変幻自在な水素の性質を、人類が“使いこなす”ための指導原理となる新たな水素科学の構築を目指しています。本シンポジウムでは、まず、ハイドロジェノミクス・プロジェクトの挑戦の概要について述べた後に、高次水素機能をもつ革新的材料（プロトン・ヒドリド・リチウム高速伝導体、水素系超伝導体）・デバイス（燃料電池、電気化学デバイス）・反応プロセス（水素化反応）の創成について、化学が工学、物理学、生物学など幅広い分野と連携し、実験と理論が協働で創出している成果を紹介致します。

座長：宮武 健治 (山梨大クリーンエネルギー研究センター)

9:00-9:05 主旨説明 (東大物性研) 森 初果

9:05-9:30 高密度水素化物の材料科学 –ハイドロジェノミクスでの挑戦–
(東北大AIMR/金研) 折茂 慎一

9:30-9:50 金属錯体による水素の高活性化 –水素社会の基盤技術開発を目指して–
(京大院人間環境) 藤田 健一

9:50-10:10 創蓄電デバイスの設計に向けた水素貯蔵高分子の高性能化
(早大先進理工) 小柳津 研一

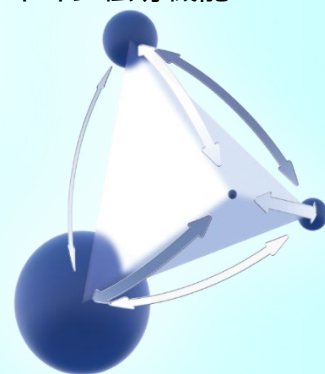
座長：山内 美穂 (九大カーボンニュートラル・エネルギー国際研)

10:10-10:30 ヒドリド導電体の物質開拓と電気化学デバイスへの応用可能性
(分子研) 小林 玄器

10:30-10:55 金属水素化物エピタキシャル薄膜合成と電子・光学・イオン伝導機能
(東工大物質理工学院) 一杉 太郎

10:55-11:15 中性子散乱による水素の観測
(KEK物構研) 大友 季哉

11:15-11:40 計測とシミュレーションの水素データ同化
(東大院理) 常行 真司



参加費：無料。日本化学会年会に参加登録されていない方も無料で参加できます。

問合先：東京大学物性研究所 森 初果

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5

E-mail: hmori@issp-u-tokyo.ac.jp

領域URL: <https://www.hydrogenomics.jp/>